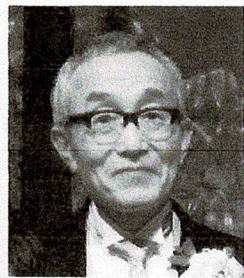


まぶリンク

そのうち
月刊



令和4年10月
秋季特大号!!
(お祝い)



翌日はみな感じ♪

9/19に一番上のお孫の結婚式で、直後書こうと思っただけ、何かいじりクレーターのよう
な穴が空いてたためした。いつの間にか秋。右上の写真は、新郎新婦と妻と4人で
並んだところから切りおま。

子供の結婚式、でした。

芝居、東京・巻参考道で。

何だか夢のような一日でした。

高橋が二一年イングリッシュの後に

東京に出た長女が、結婚して

たかさんの人から祝福メッセージ

よと。(ああすでに別の時間

が流れてるんだなあ、みたりな)

自分一人だけ泣いてるという、

長女のたかさんの友だちがとこと

とまぶしく見えました。

二匹接りの笑顔を見せよ新郎

と、いつものまぶんとした笑顔のまぶ

下まつませ

— 20年前のコロナ禍は誰も知らない —
20年前の母



他人が
いたの
切り取
いた

20年前の妻

こんな結婚式は
あ、入籍は去年だよ。

お姉妹、おうちの表婚
びてお祝いお祝い
ほめたかお祝いお祝い

あ、妻も、新郎の親御さん
の、お祝いのお祝い。ホテお祝い
お祝いから...

いっしょにのびのびの文房具を使っ
ていて、鉛筆より先に、お祝い
とマシク、お祝いお祝い。お祝
いお祝い...

目黒奇生虫館

で、少しだけ時間があつたので、どし
こも行きまわりの一つ、目黒奇生虫
館に。(結婚式の二日前ね)

一時間半くらいいたかな、私以外

みんなカッパルが覗きすれ。無料。

西郷隆盛がスリリア虫の後述症

である、いんのう水腫と患うこと

という所には、どうしてし

何度も足を止めお祝いしよう。

アニキス幼虫の入ったストラ

ップを買いました。

販売コーナーのお姉さんに、何か

話しかかりようと思いましたが、何

とも、お祝いお祝い、お祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

にこれくらい、と選んでもらった
ので、同じメーカーのやつ。
なかせ毎年こんな話をしてます。

「お祝いお祝いお祝いお祝い」

水を張ったなかに豆腐を入れ、

ヘルメットに入れてお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い

お祝いお祝いお祝いお祝い



お祝いお祝いお祝いお祝い
お祝いお祝いお祝いお祝い
お祝いお祝いお祝いお祝い
お祝いお祝いお祝いお祝い

コーラス部

碩台小学校の5、6年ではコーラス部。3クラスから一クラス分くらいの人数が選ばされる。高い声は出せなかったのがアルトだった。勝木先生が汗を飛ばしながらの指導は楽しく、コンクールのシーズンでない時もいろんな曲を練習し、先生がいろんな話をするのも面白く、コーラス部の活動は好きだった。思えばそれで音楽が好きになったんだろう。

歌が上手だったかと言えばそういう訳でもなく、正確に歌うことは得意であっても、いつも「感情をこめて歌えー」としかられていた。当時はどう歌えば感情がこもるんだろう、と何もわからず。

県大会の予選で、自由曲「石ころの歌」が、今まで歌った中で一番よいできた。同じ自由曲を他の学校も歌ったけど、自分たちのほうがよかったぞと待っていた。そしたら制限時間オーバーで失格してしまった。あっけなすぎで、どんな気持ちだったかすら覚えていない。

小学校の同窓会の連絡係なので、当時のいろんなことを思い出しながら電話をかける。中学校の同窓会とはまた違い、相手の記憶にある坂田眞成は、さらに幼く、へーという感じで楽しい。

そこまではいいけれど、思い出話なんてのは記憶モードでおしゃべりすることろまでだ。フェイスブックなんかでこと細かに文字に残されていくと、だんだん犯行記録を白状させられているようどうとうしい。当時の人間関係が正確に再現されていてしまうと、居場所まで当時のままに戻ってしまう。それよりも、同級生と会ったときには今の話をしているほうが好きだ。

勝木先生の指導が染みついていることが一つ。ドレミファソラシドの発声。「シ」と普通に発声すると摩擦音がどうしても耳障りだ。なので、先生からは「スイ」と発声するように習った。コーラス部は全員そう発声した。今も「スイ」と言う。体が覚えている。ところが一人だけ、普通に「シ」と発声して摩擦音が出ない女子

がいた。勝木先生も感心していたと記憶している。

その女子に（練習の合間に）いたずらして、勝木先生から相当な勢いで怒鳴りつけられた。歌以外で先生からおこられたのはその時だけ。

同窓会で会える予定だから、そんなことを覚えているかどうか聞いてみよう。そのくらいの昔話はいいかな。

勝木先生には卒業以来会わなかった。母がずっと年賀状を出していたが、十数年前にお亡くなりになった。熊本にUターンで戻った少し後。仕事にしがみついて気持ちに余裕がなかった頃。先生と今の話をしたかった。

会いたい人には、すぐ会おう。それからそんな風に思っている。（了）

文：坂田 眞成

（2012年の文章です。勝木先生が亡くなられてもう三十年近くになります）